

計算機利用負担金大幅値下げを決定

総合情報処理センター

総合情報処理センターでは、去る7月25日の管理委員会で、下記のとおり、計算機利用料金を、本年4月にさかのぼって大幅に値下げすることを決定しました。

- HITAC M-680のCPU料金大幅値下げ
 - 長時間ジョブのCPU料金は1/4に値下げ
 - 900秒以下のCPU料金も1円値下げ

HITAC CPU	旧料金 → 新料金
300秒以下	7円/秒 → 6円/秒
300秒～900秒	3円/秒 → 2円/秒
900秒以上	0.8円/秒 → 0.2円/秒

これにより、長時間ジョブのCPU料金は、東京大学大型計算機センター（HITAC M-680、およびS-810（IAP付））を利用した場合より安くなります。

この値下げにより、本年秋頃からの繁忙期はCPUを使うジョブにより混み合う事が予想されますので、CPUを沢山使う予定のある方は早めにご利用下さるようお願いいたします。

- HITAC M-680Hの経過時間料金は2/3
端末として接続している時間1分につき3円の経過料金が1分につき2円となります。

- IBM3081研究利用の大幅値下げ

IBM3081を研究者が利用する場合のCPU料金及び経過料金は1/4以上の値下げとなり、HITAC M-680Hの1/10となります。

IBM CPU と経過時間		旧料金 → 新料金
CPU	300秒以下	2.5円/秒→0.6円/秒
	300秒～900秒	1円/秒→0.2円/秒
	900秒以上	0.3円/秒→0.02円/秒
経過時間	1分につき	1円/分→0.2円/分

- 標準端末ローカル利用料金は無料

これまで、1回につき50円のローカル利用料金項目は負担金表から削除されました。従って標準端末のローカル利用は無料となりますが、端末数に限りがありますので、できるだけすいている時期・時間帯にご利用下さるようお願いいたします。

- IBM3081上の教育利用では演算・経過料金が無料

IBM3081を利用した教育利用では、CPU料金及び経過時間料金は無料です。

学生の教育に計算機を利用されている方は、ぜひIBM3081をご利用下さい。